

# 山口県高P連 会報

平成28年11月1日発行

## 16号

発行 山口県公立高等学校PTA連合会  
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館2F  
TEL 083-923-4761 FAX 083-923-4785  
http://ymg-kpren.jp/ E-mail ymgt.koup@etude.ocn.ne.jp

### ごあいさつ

山口県公立高等学校PTA連合会

会長 板谷 正



会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は山口県公立高等学校PTA連合会の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度に引き続き本会の会長を務めさせていただきまます板谷です。

これまで私自身、山口県高等学校PTA連合会では、副会長・全国大会副実行委員長という役職で長く活動してきましたが、昨年度より会長という最も重く責任ある立場を務めさせていただき、学識経験者を含む多くの方々からのお話を聞く機会や諸会議への出席も増えました。また県内外での教育現場の実情を確認させていただき、この混沌とした社会の中で子供達をしっかりと育てていくためには、教育現場の改革は勿論ですが、家庭の理解、PTAを含む協力団体、それぞれが連携・協働してこそ、未来を生き抜くたくましい人材を社会に送り出すことができるのであると改めて確信することができました。

子供達の育っていく環境、または今後の社会を予測しても、グローバル化や高度情報化の波は衰えることない世界全体の急激な変化や、少子化に伴う生産人口の減少等、全く見通しの利かない状況はこれからも続いていくと予想されます。このような状況の中、国の教育再生実行会議において、子供達の多様性を踏まえた特色ある学校づく

りが提唱され、「生きる力」の育成に向け、教育指導内容の改革など様々な検討を進められております。

山口県教育委員会におきましても、教育目標を『未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成に向けて』と定め、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」「質の高い教育環境づくりの推進」「生涯にわたる県民総参加の推進」を3つの施策の柱とし、10の緊急重点プロジェクトを掲げ、具体的な本県の実情を踏まえた実効ある取り組みを推進されております。

私たち山口県高P連も、昨年策定した「アクションプランROAD TO 2020」を6年間の活動指針として教育現場の応援活動を行ってまいります。

本年度の活動内容としては、定期総会にて「いま何故アクティブ・ラーニングが必要とされているのか」というテーマでこれからの時代を生き抜く生徒にとって必要な資質・能力を育成するための講演会の実施、また近年は県内1カ所で行ってきた山口県高P連研究討議研修会を県内3地区でPTA熟議として実施し「高校生の心に火を灯す」、保護者や先生、地域の人は、応援団として何ができるかというテーマについて話し合い、そ

## 【お知らせ】

### 平成29年度 山口県公立高等学校 PTA連合会総会

日時：平成29年6月2日(金) 13時～  
会場：ホテルかめ福 (山口市湯田温泉)

### 平成29年度 第59回中国・四国地区高P連大会 山口大会

日時：平成29年7月14日(金)  
会場：海峡メッセ (下関市)

### 平成29年度 第67回全国高等学校PTA連合会大会 静岡大会

日時：平成29年8月24日(木)、25日(金)  
会場：静岡県小笠山総合運動公園エコパ他  
(静岡市、袋井市、浜松市)

の中で全体が評価した企画を各地区の事業計画とし、これまでにない具体的な継続活動への取り組みを始めます。また昨年、西京高校で実施し好評であった高校生熟議を、本年は萩高校と西京高校で実施しました。初の取り組みとなる萩高校ではテーマである「世界遺産の中にある学校として、私たちに何ができるのか？」について熱い議論を行っていただきました。いよいよ来年度は、第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会山口大会が下関の地で開催されます。この大会での研究協議の機会を現在私たちが進めておりますアクションプランでの取り組み及び活動状況の報告の場と考えております。

私たち山口県公立高等学校PTA連合会、これからも子供達の応援団として、教育現場と家庭・地域が一体となつて主体性を持ち確かな「生きる力」をつけた子供達を社会に送り出せるよう積極的な活動を展開していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 第58回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会報告

県連副会長 八橋 秀治

第58回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会が、平成28年7月15日香川県高松市のレクザムホールにて「発信！PTAとふるさとのソコチカラ」空と海 オリーブのくにからの大会テーマのもと盛大に開催されました。

開催のあいさつでは、中国・四国地区高等学校PTA連合会泉満会長が「個性を伸ばす環境づくり」、全国高等学校PTA連合会佐野元彦会長が「考え、行動の前にある熱い想いの大切さ」について想いを語られました。いずれも、子ども達の中に眠るものを引き出し、個性豊かにすべきとの想いが伝わるようでした。



講演には「違いが分かる男」でご存じの宮本亜門さんをお迎えし、「違うから面白い、違うくないから素晴らしい」と題し、幼少期から現在に至るまでの人生を語られました。周囲との違う感受性、視点、考え方

を持つている自分に気付いた時、異端と感じた自分に悩み、引きこもりになったそうです。

しかし、そんな自分を認めてくれる人がいることを知り、逆に人それぞれの違いを素直に受けとめ、その違いが混じることで新たなもの（表現）を生み出すことができる、それが演出家としての自分の源であるかのように語られていました。人それぞれみんな違う、「人生は舞台。自分でシナリオを描き、自分で演出し作り上げていく」自分がなりたいのかを見定め、それに向かっていくことで、自分だけの無二の舞台（人生）を創り出すことができることを、子ども達に知ってほしいという思いを強く感じました。

また、もう一つ大切なこと「人は生きるために食す」当たり前ですが、それは他の命を奪い頂いているということとを忘れない、その命に支えられていることに感謝する心を養ってもらいたい、死に直面することの少ない現代では、命の尊さを学んで欲しいという思いも私なりに受け止めることができました。難しい課題ですが、価値観の違う個々を互いに尊重し感謝する、人として一番学ばなければならぬ学問であるということを感じた講話でした。

大会の後半では、代表校3校による発表をもとに研究協議がおこなわれました。議長団として、県連一柳大志副会長がスムーズな進行に尽力されました。岡山県立井原高等学校PTAでは、「学校教育とPTA」「地域で織り成すふれあい祭り」、高知県立高知工業高等学校PTAでは、「社会に求められる人づくり」～探究型人材育成とPTA活動～、香川県立琴平高等学校では、「被災地交流を通じて」それぞれ視点の異なる「地域連携」「人材育成」「ボランティア」に関する活動を紹介され、いずれもPTA（保護者と教員）が子ども達の援助者としてかわり、子ども達主体で「人と人のつながりを大切にする」ことを学び成長している」という点に感動しました。自校の子ども達を今一度見つめなおし、成長したい道を進めるよう支援していければと思います。

大会の終盤では、高校生によるパフォーマンスが披露され、どのパフォーマンスも全国制覇の名に恥じない素晴らしいものでした。何より素晴らしいのは、個々の生徒が輝き、人としてしっかりと精神を持っている点でした。数千人の前の舞台にたちながら、MCの応対にもしっかりと答え、度々会場から絶大な拍手が起こって

たこと、単なる部活動ではなく社会に出る前の人として、成長の成果が出ていることを強く感じました。

閉会行事では、来年度大会引き受けの



我ら山口県公立高等学校PTA連合会の板谷会長があいさつされ、第59回山口大会を熱くPRをされました。大会を終え、子ども達個々の違い、価値観をどう伸ばすことが出来るのか、冒頭の各会長の話で触れられていた様に、子ども達の秘める熱い無限の可能性をどう引き出せるのか、教育現場の良き支援団体となるPTA活動を模範となる大人である皆さんと一丸となって進められることを願わずにはいられない大会となりました。

最後に、開催県である香川県の皆様、準備・運営等、大変お疲れ様でした。とても素晴らしい大会に参加させていただき感謝の気持ちでいっぱいです。来年度はいよいよ山口大会です。みんなで力を合わせ大成功に終わるよう、頑張りましょう。



# 第66回全国高等学校PTA連合会大会千葉大会報告

県連副会長 中儀 和子

平成28年8月25日26日の二日間、千葉県幕張メッセにて、第66回全国高等学校PTA連合会大会千葉大会が開催されました。全国より約1万人の会員が一同に集い、山口県からは110名の参加がありました。

大会一日目、朝から強い日差しの中、駐車場に始まり会場周辺の案内に立つ大会スタッフの気持ちの良いあいさつに迎えられての会場入り。席について



早々にアトラクションとして出迎えてくれたのは、全国各種大会で常に上位入賞を果たす、習志野市立習志野高等学校吹奏楽部の「習高サウンド」。全国トップクラスの高校生の熱気溢れる素晴らしい演奏に迎えられ会場が感動で一つになり、この後の大会がきつと有意義なものになると予感させられる始まりとなりました。

開会式は、8月に就任したばかりの松野博一文部科学大臣をはじめ森田健作県知事、熊谷俊人市長と多くのご来賓の方々のご列席の元、開会されました。

大会テーマは、「再発見！愛」今こそ信じよう愛の絆、本大会が愛を再発見するきっかけとなり、「学校」「家族」「地域社会」のつながりを深め「愛の絆」を確かなものとし、子どもたちの健やかな成長につなげていきたい。と実行委員長より歓迎のあいさつがあり、その後の表彰式では、全国高P連会長表彰（個人）を白木美和顧問、上村真一顧問、藤井美保子顧問（3名とも前県連副会長）が受賞され、全国高P連会長表彰（団体）を岩国工業高等学校PTA、山口中央高等学校PTAが受賞されました。受賞された個人、団体のみなさんおめでとうございます。以上の開会式を終え、引き続き同会

場にて基調講演です。講演者は千葉敬愛短期大学学長 明石要一氏、テーマは、高校生の自立を支援するPTA活動の在り方。今こそ信じよう高校生を。教育者ということではどんなお堅いお話かと身構えていると、「まずはじめに、じゃんけんのグー出してください」と始まる。このグーの形、男性はほとんどが親指外側グーですが、女性は親指外側、親指が中に入る、親指が横と3通りに分かれるそうです。そして性格もわかれると言われます。親指外側は負けず嫌いの。地域のリーダーやPTA会長になりやすい。この会場にいる人はこのタイプが多いのではないのでしょうか。その逆が親指中に入れる。良妻賢母、上品で気品がある。細かい作業が得意なので広報委員に向いている。最後に親指横の人は、知的能力が高い、頭が柔らかくアンテナが高く情報キャッチが上手い。3人が力を合わせるとPTAも面白い。根拠はなくあくまで統計です。とのこと。山口県席に座る女性の出したグーを見ると10人中9人が親指外側。思わずみんな目合わせ納得してしまう。こんな感じに少し早口で飾らない言葉で、今の子どもたちの現状と今後の家庭教育や社会において必要なことを語られています。時代が変わり、子どもが変わり、



親が変わり、地域が変わる様々な変化の中で、大切なものは「二つの風と一つの色」家の風で家風。二つ目は学校の校風。そして、地域のカラーである地域色。この家庭・学校・地域、三位一体となって高校生を育てる環境を整えていくことが今後のPTAの課題だとお話いただきました。

そして昼食は、千葉県立佐倉高等学校調理国際科の生徒が作成協力した地元食材をふんだんに使った大会弁当。ピーナッツ（落花生）の国内産の約8割が千葉県産で、千葉っ子なら知っていて当然という千葉県学校給食ではお馴染みのみそピーナッツも一品としていただきました。

午後からは、7つの会場に分かれての分科会です。「学校教育とPTA」進

路指導とPTA」「家庭教育とPTA」「学校の危機管理とPTA」など、それぞれのテーマにて事例発表や研究討議、基調講演、パネルディスカッションなどが行われ、熱く議論が交わされました。後の報告会の中で、子どもには教えるのではなく、気づきを与えるコーチングが大切という言葉が印象に残りました。

朝から盛りだくさんの一日目の日程を終えた後は、品川プリンスホテルにて山口県教育懇談会でした。過去最多の参加人数ということで、山口県高P連の結束が窺えます。全国大会や中国大会では、講演会や事例発表などで知識を高めることも大会参加の目的の一つではありますが、懇談会などで、他校の会長さんや役員さん先生方とのコミュニケーションを通じ、情報や意識の共有などを図ることも意義のあることだと思います。今後もこういった機会をご利用していただければ幸いです。

さて、大会二日目は本大会のメイン、千葉県出身女優市原悦子さんの記念公演、演題は「私の選んだ女優の道」。客席をゆっくり歩いて手を振りながら登場。その愛らしい姿を観るだけで会場が微笑ましく温かくなっていくのを感じました。少し息を切らしスティージに上がり最初に発した言葉は「うふふ」このたった一言で会場全体が笑顔に包まれる。さすがベテラン

の女優さん、間の取り方が絶妙にお上手です。その後も穏やかな口調で小学校、中学校でのエピソードや女優を目指したきっかけなどをお話いただきました。そして朗読を一本。グリム童話「ねずの木の話」、「おかあさんがぼくをころして、おとうさんがぼくをたべた、いもうとはぼくのほねをひろつてねずのきのしたにおいた……キヴィット、キヴィット」とても残酷なお話。

先ほどの温かかった会場は、ピンと空気が張りつめる。市原悦子さんのお話の中に多くの人が入り込んでいくのが空気を通じて感じとれる。その後、日本昔ばなしの裏話など楽しくお話いただいた後、二本目の朗読は、火垂るの墓の著者、野坂昭如さんの「風になったお母さん」戦争の最中、戦火に巻き込まれ、我が子を助けるために自らを盾に懸命に守り、最後は空に舞ったお母さんの切なく悲しく恐怖さを感じるお話。以上で公演終了。市原悦子さんってすごい女優さんだな。っていう感想と、なぜこの1万人の観衆の公演で残酷なグリム童話や戦争童話を朗読したのか疑問がわきました。連日のように起こる子どもたちの悲しい事故や事件。この夏、子どもの虐待死0歳が過去最多というニュースも目にしました。公演の中の二本の朗読は今の社会に対して、市原悦子さんからの警鐘であり、今後私たち大人がどう行動するのか何をしなければいけないのか、宿

題を受け取ったような気がする。共に、この公演は、自らが気づき考えさせられる市原悦子流のコーチングだっ



## 祝 表 彰

第66回全国大会（千葉大会）で次の団体が表彰されました。  
おめでとうございます。

◇全国高等学校PTA連合会会長表彰  
(団体の部)

山口県立岩国工業高等学校PTA  
山口県立山口中央高等学校PTA

(役員部の部)

藤井美保子氏(山口県公立高等学校PTA連合会前副会長)  
白木 美和氏(山口県公立高等学校PTA連合会前副会長)  
上村 真一氏(山口県公立高等学校PTA連合会前副会長)

## 平成29年度 主要行事予定

| 月     | 日        | 行 事                                              |
|-------|----------|--------------------------------------------------|
| 5     | 26       | 第1回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)                         |
| 6     | 2        | 山口県高P連総会 (ホテルかめ福)                                |
| 7     | 14<br>21 | 第59回中国・四国地区高P連大会山口大会<br>第2回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク) |
| 8     | 24~25    | 第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会                           |
| 9     | 8        | 第3回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)                         |
| H30.2 | 15       | 第4回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)                         |

たように思いました。「おかあさんがぼくをころして、おとうさんが……」今もお、あの一節が深く胸に刻まれています。

とても有意義だった二日間、参加されたみなさん大変おつかれさまでした。様々な情報や感動を共有し、また山口県の子どもたちを応援する活動に活かしていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



# 第69回山口県高P連総会

6月3日(金) ホテルかめ福で開催  
されました。

来年度に控えた平成29年度第59回  
国・四国地区高P連大会山口大会につ  
いて大会要項(案)、大会運営組織・  
役割分担(案)が協議されました。今  
後は常任委員会兼実行委員会において  
準備を進めていくことになりました。  
また、「いま何故アクティブ・ラー  
ニングが必要とされているのか?」  
これからの時代を生きていく生徒に  
とって必要な資質・能力を育成するた  
めに、という題目で萩商工高校松嶋渉  
先生に講演・演習をしていただきました。

なお、総会では次の議案が可決承認  
されました。

- 平成27年度事業報告並びに収支決算
- 平成27年度見舞金収支決算
- 平成27年度研究討議基金収支決算
- 第59回中国・四国地区高P連大会山  
口大会要項案及び運営組織案
- 平成28年度事業計画並びに収支予算  
案
- 平成28年度見舞金収支予算案
- 平成28年度研究討議基金収支予算案

総会では次の方が教育長表彰・会長  
表彰を受賞されました。(敬称略)

- 久米 慶典(岩国商業・定時制)
- 藤井 美保子(熊毛北)
- 林 敏寛(徳山商工)
- 松原 和正(佐波、防府・佐波)



## 会長表彰受賞者

- |              |             |             |             |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 白木 和正(西京)    | 岡井 徹(山口農業)  | 嶋田 英治(下関中等) | 上村 真一(大津緑洋) |
| 渡邊 泰學(岩国)    | 福原 一成(岩国工業) | 末廣 均(周防大島)  | 楠原 慎太郎(柳井)  |
| 浅田 史和(田布施農工) | 松原 裕介(光丘)   | 秦 辰也(光丘)    |             |

## 山口県高P連組織の概要

- 【名称】山口県公立高等学校PTA連合会
- 【構成】山口県内の公立高等学校PTAをもって組織  
全日制一県立51校、市立1校、分校7校の計59校  
定時制一県立13校、市立1校の計14校
- 【目的】各単位PTA相互の連絡提携を図り、相協力して高等学  
校PTAの発展と教育の振興を図る。
- 【主な事業】1 各単位PTA間の連絡提携(委員会、総会、地区別  
研究・連絡協議会等)  
2 高校教育の振興に関する調査研究(全高P連と連携  
～アンケート調査等)  
3 文教政策への建議と意見の公表(全国、中・四国大  
会での協議、要望書等)  
4 教育、行政機関・教育諸団体との連携(諸大会参加、  
事業への協力・後援等)
- 【機関】総会(年1回、6月開催)  
常任委員会(年5回、5・7・9・2・5月)
- 【役員】平成28年度
- |     |                       |             |
|-----|-----------------------|-------------|
| 顧問  | 寺本 隆宏(前県PTA連合会会長) 留任  | 石本 崇(岩国)    |
| 会長  | 板谷 正(下関商業高校PTA会長) 留任  | 本迫 忠健(岩国)   |
| 副会長 | 中儀 和子(高森高校PTA会長) 新任   | 尾本 彦実(周防大島) |
|     | 八橋 秀治(厚狭高校PTA会長) 新任   | 御神 也(柳井)    |
|     | 一柳 大志(下関南高校PTA会長) 新任  | 河堀 真浩(下松工業) |
|     | 吉本 児(山口中央高校校長) 留任     | 倉田 治之(徳山)   |
| 監事  | 中村 隆秀(防府商工高校PTA会長) 新任 | 宮地 利亮(防府)   |
|     | 大平 憲二(萩商工高校PTA会長) 新任  | 大藤 智秀(宇部工業) |
| 幹事  | 田熊 直樹(山口高校教頭) 留任      | 岩永 治聡(宇部商業) |
|     | 池田 雅一(山口中央高校事務長) 留任   | 林 敏裕(豊後)    |
- 常任委員
- |              |             |
|--------------|-------------|
| 岩国地区PTA会長    | 石本 崇(岩国)    |
| 柳井地区PTA会長    | 本迫 忠健(岩国)   |
| 周南地区PTA会長    | 尾本 彦実(周防大島) |
| 山防地区PTA会長    | 御神 也(柳井)    |
| 長南地区PTA会長    | 河堀 真浩(下松工業) |
| 下関地区PTA会長    | 倉田 治之(徳山)   |
| 長北地区PTA会長    | 宮地 利亮(防府)   |
| 公立高等学校長会会長   | 大藤 智秀(宇部工業) |
| 会長所属校校長      | 岩永 治聡(宇部商業) |
| 公立高等学校事務長部会長 | 林 敏裕(豊後)    |
- 【事務局】山口市大手町2番18号 山口県教育会館2F  
(TEL: 083-923-4761、FAX: 083-923-4785)  
事務局 局長 久芳 善人 事務局 職員 清水 典子  
事務局 次長 山本 貴司

- |           |           |           |          |                |              |            |             |           |             |             |             |             |              |             |           |           |
|-----------|-----------|-----------|----------|----------------|--------------|------------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-----------|-----------|
| 堀本 浩司(下松) | 後藤 幸男(華陵) | 叶井 武敏(徳山) | 渡邊 勝(徳山) | 福田 美智子(徳山・徳山北) | 湯浅 尚志(徳山・鹿野) | 門井 洋次(新南陽) | 藤井 美里(南陽工業) | 佐甲 裕史(防府) | 木原 宏志(防府商工) | 板垣 恵(山口・徳佐) | 松岡 一和(宇部商業) | 平川 英治(宇部工業) | 藤田 耕造(小野田工業) | 池田 幸浩(美祿青嶺) | 中村 義之(田部) | 山中 勝行(西市) |
|-----------|-----------|-----------|----------|----------------|--------------|------------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-----------|-----------|

大変お疲れ様でした。なお、総会後  
の会長会議、これに続く教育懇談会では  
昨年同様多くの会員の皆さまに出席  
をいただき会員同士親しく意見交換を  
深めることができました。

|           |               |          |          |          |            |           |              |                  |               |                 |
|-----------|---------------|----------|----------|----------|------------|-----------|--------------|------------------|---------------|-----------------|
| 石崎 研二(豊浦) | 中野 秀行(下関中央工業) | 大方 伸敏(響) | 藤井 薫(豊北) | 宮本 直治(萩) | 村本 行繁(萩商工) | 金子 聖司(奈古) | 中野 祥代(光・定時制) | 梅田 恵奈美(下松工業・定時制) | 宗網 達哉(山口・定時制) | 首藤 憲二(下関工業・定時制) |
|-----------|---------------|----------|----------|----------|------------|-----------|--------------|------------------|---------------|-----------------|

# 平成28年度 研究討議会研修報告

今年度は県内3地区において、「高校生の心に火をともし」～保護者や先生、地域の人は、応援団として何ができるか？というテーマで研究討議研修会（熟議）を実施しました。当日のプログラム、そして3地区それぞれのエリアで今後取り組んでいこうということに決定した企画案、参加された方々の感想を紹介いたします。

## 【研究討議研修会の実施状況】

|   | 地区 | 日        | 時           | 実施場所（主管校）          | 参加人数 |
|---|----|----------|-------------|--------------------|------|
| 1 | 西部 | 8月3日（水）  | 13：00～16：00 | 豊北生涯学習センター（豊北高校）   | 63名  |
| 2 | 東部 | 8月5日（金）  | 13：00～16：00 | 下松地域交流センター（下松工業高校） | 88名  |
| 3 | 中部 | 8月10日（水） | 13：00～16：00 | ときわ湖水ホール（宇部西高校）    | 74名  |

## 【当日のプログラム】

※全会場において同一のプログラムで研究討議研修会を実施

| 所要時間  | 項目        | 詳細                                |
|-------|-----------|-----------------------------------|
| 13：00 | 開会あいさつ    | ・会長あいさつ～本日の趣旨説明。                  |
| 13：05 | ふりかえり     | ・これまでの研究討議（熟議）で行われた取り組みの経緯について。   |
| 13：20 | 熟議開始～目的説明 | ・本日の熟議の目的やプログラム（カードを使った話し合い）の説明。  |
| 13：30 | アイスブレイク   | ・あいこでジャンケンハイタッチ、絵描きしりとり。（輪づくりが目的） |
| 13：40 | グループワーク開始 | ・参加者が9～11のグループに分かれ、自己紹介。（A4用紙に記入） |
|       | 自己紹介、役割分担 | ・司会、記録、発表などの担当者を決めて全員での討議を目指す。    |
| 13：50 | 意見の共有、整理  | ・「子どもたちの応援団としてできること」について意見を出し合う。  |
|       | グループで討議   | ・各自が1枚のカードに意見を書き、グループ内で発表して共有する。  |
| 14：15 | <休憩>      | ・他のグループの意見も参考に見て回る。               |
| 14：30 | 取り組み決定    | ・地域の実情に合った、自分たちでできることを選んで企画を立てる。  |
| 14：45 | グループ発表    | ・それぞれのグループで出された意見を企画案にまとめて発表。     |
|       | 企画案の吟味    | ・各グループから出された企画案に対して全員が投票を行う。      |
| 15：30 | 投票        | ・各自が1位＝2点、2位＝1点を持ち点にエリア内の取り組みを選ぶ。 |
| 15：50 | まとめ～終了    | ・投票結果のまとめ、今後のエリアでの取り組み～終了、解散。     |

- 初めに  
出された意見
- ・子どもの思いをしっかりと聞く。
  - ・会話をする。
  - ・共通の目標を持つ。
  - ・地域の祭りの企画、運営を行う。
  - ・校区内、地域の方とボランティア。
  - ・地域のイベント（スポーツ）に一緒に参加。
  - ・高校生の森づくり。

※ は特に注目を集めたキーワード



西部地区

研究討議研修会 熟議  
「私たちが子どもたちの  
応援団として何ができるか」

## 子どもたちの応援団として取り組むためのアイデア



- ・できることやりたいこと。
  - ・高校祭の開催。
  - ・自分たちが企画し、発言できるように。
  - ・子どもたちが行いたい文化祭。
  - ・定型に対する不満。学校らしさ。
  - ・ポケモンGOで親子の会話。
  - ・親子で楽しくワイワイと。(5人の子持ち)
  - ・大人の無関心をなくす。LINE、子ども発信。
  - ・話さなくなるとキケン。親が近くいても。
  - ・今の子どもは真面目。企画力が乏しい。創意工夫。
  - ・失敗しても良いから自分で企画して実践。地域づくり。
  - ・子どもたちのやりたい文化祭。
  - ・学校以外での地域とのつながり。
- ~~~~~
- タイトル
  - 夏!!高校生フェスの開催
  - 目的
  - 高校生の「企画力」の育成
  - 担い手
  - 各高校の生徒、PTA、OB、OG、地域の皆さん
  - ターゲット
  - 地域全体

## ●スケジュール・内容

- ・西部地区の各高校が企画を持ち寄り、高校生中心の企画をもとにフェス（祭り）を実施。
- ・開催は3年に1回。
- ・FMラジオ等による宣伝、スポンサー募集などを行う。
- ・学校間の交流、コラボ。

## 東部地区



※ は特に注目を集めたキーワード

## 初めに出された意見

- ・1日1会話。
- ・海岸の清掃活動と一緒に行う。
- ・日本の伝統行事を地域の方も一緒に行う。(例…もちつき、みこし)

「Meisho Go」。専用アプリで地域の名所へ行くイベントを開催する。



## 子どもたちの応援団として取り組むためのアイデア

- ・保護者と子どもの関係性が大切。
  - ・見て見ぬふりをしない！
  - ・市の観光PR（ボランティア）。
  - ・あいさつ。居場所があるかな。
  - ・アンケート調査。スクールカウンセラー。
  - ・生徒と先生の信頼関係。地域が主体。
  - ・学校行事にも積極的に参加する。
  - ・学校の特性を活かした取り組み。
  - ・お年寄りの方々との交流活動。
  - ・アプリ開発⇄レストラン、企業と連携する。
  - ・海産物（太刀魚）の加工。
  - ・周防大島の「海の市」のイベントの協同開催。
- ~~~~~
- チーム名：Team Chachatto!!
  - タイトル
  - コミュニティClub
  - 目的
  - 居場所づくり
  - 担い手
  - 地域、企業、保護者、学校
  - ターゲット
  - 高校生
  - スケジュール・内容

## 中部地区

※ は特に注目を集めたキーワード

## 初めに出された意見

- ・通勤・通学時、駅前などで「あいさつ運動」。
- ・自分たちが利用している駅の清掃。
- ・学校で就労体験。
- ・悩み相談、アドバイス。⇄親としてではなく近所のおばちゃん的な立場で。
- ・臨時幼稚園。



## 子どもたちの応援団として取り組むためのアイデア

- ・あいさつは基本、学校以外でも必要。
- ・PTAとして学校と地域の間を取り





持つ。

・地域社会の担い手であるという自覚が生まれる。

・リーダーシップを持たせる。

・社会貢献、マナー、3世代の意識。

・お兄ちゃん、お姉ちゃん先生。

~~~~~

### ●タイトル

地域活性隊7(セブン)：お兄ちゃん・お姉ちゃん先生

### ●目的

地域と関わることで、リーダーシップを育てる。

### ●担い手

PTAと生徒

### ●ターゲット

地域の幼稚園児、小学生、中学生、高校生

※7(セブン)＝地域の7人

＝お兄ちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、高校生、中学生、小学生、幼稚園児

### ●スケジュール・内容

※「高校生が先生役」となり、様々な行事に取り組み。子どもが先生になる。

・幼稚園、保育園訪問⇩お菓子作り、季節の行事への参加。

・小学校、中学校クラブ指導⇩部活動単位、地域のスポーツクラブでの指導。

・地域住民対象のIT教室⇩得意のスマホやパソコンの使い方を地域のお年寄りに教える。

※以上の活動に加えて(費用は内容によって異なる)

・地域の方へのあいさつ運動  
・まちづくりへの参加  
・定期的な清掃活動

## 研究討議研修会に

### 参加して思ったこと

#### ～今日の感想

・子どものサポーターとして我々に何ができるのかを考える良い機会となった。

・PTAの役割と責任、子どもをとりまく環境の整備の必要性を感じた。

・高校生の現状と課題が認識でき、今後、応援団として頑張りたいと感じ

ることが出来た。

・単Pの行事に取り入れたい企画が多く参考になった。いろいろな企画案が出て素晴らしかった。

・子どものために真剣に保護者、先生が考え行動したいという気持ちに皆強いことに感動した。この研修会に参加してたくさん吸収することができた。

・保護者からだけでなく教師から見た高校生を知ることが出来た。3年間を充実したものにしてほしいという想いは皆一緒だった。これから先生方と連携して子どもたちが楽しい学校生活を送れるように参加したい。

・自分1人の意見では企画を立てるのは不安だったが、いろいろな立場の方から意見を伺い、1つにできて大変勉強になった。高校生を思う気持ちや温かい目は一緒だと思った。

・今日の企画運営がとても良い。お互いに意見を出し合い協議して考えるアクティブラーニング形式は想像させる力を生み出して良いと思う。

・子どもたちを支える取り組みを保護者、先生が共に同じテーマに向かい協議出来て良かった。これからより良い取り組みができる機会に参加させてもらって良かった。

・親としてまた地域の大人としていろいろと考えさせられた。わが子ともしっかり結びついて行くのはもちろん地域の子どもたちにも目を向けた

い。

・子どもたちに体験をさせたいという思いが共通している。様々な意見を聴いて最終的にまとめてくれたグループのメンバーに感謝。

・自分の子どもも高校と他校の情報交換(地域行事含む)ができて良かった。親同士もつながり地域活性、子どもたちの心に火がつけば良いと思う。

・高校生になって一緒にやりたいことも少なくなるが、今回はアイデアを考える貴重な時間だった。同じ考えの方と話ができて楽しかった。

・高校生のやる気について先生方、保護者がいろんな意見を出し合い、正直とてもびっくりした。初めて参加したがとても良い勉強になった。

・今日はいろいろな企画があり、自分自身も子ども、先生、保護者の協同の取り組みについて学んだ。この学びで高校生たちに火をつけることができた最高だと思う。

・高校生の現在の力でも十分社会に貢献でき企画がたくさんあり、生徒の自己肯定感を高められそう。が、まだまだ伸びる、伸ばさないとけないので高度な企業見学会が実現できたら良いと思う。

・今日はいろいろな高校の方たちと子どもたちのために何ができるかを真剣に考えることができてとても良



かった。各グループの発表ではいろいろな意見が出され驚かされた。

・「高校生の心に火をともし」大変難しいテーマだと思っていた。こうしてグループ討議をすることによって様々な意見を聞くことで勉強になり楽しく参加させていただいた。

・高校生、子どもたちにもっといろいろな体験をさせて、達成感や自己有用感を持たせることで「心に火をつける」ことができる点でこれも同じ思いを持っていると感じた。

・いろいろな企画、アイデアが出たが、どこが主体（中心）となるのか、自治体や地域からどのように学校に投げかければ良いのか、予算など実施するためにはもっとと深めて行かねばならないと感じた。

・なかなか難しく最初は企画案がつけられるかどうかだったが、意見が出るようになってからは割とスムーズにまとまり、皆さんの意見が聞けて良かった。

・今日参加して他校の保護者の方々と先生方の様々な意見を聞くことができて大変勉強になった。他のグループの企画も素晴らしいと思った。今日のような話し合いに高校生自身も参加できたら面白いと思う。

・他校の保護者、先生とお話する機会があり楽しく過ごせた。家庭でのことなど考えさせられることがあり、

自分自身の勉強にもなった。人と話すのは不得意だがよい機会に感謝したい。

・保護者として今、これから子どものためにできることがたくさんあると思った。このような保護者同士のコミュニケーションや情報交換会にたくさんの方が参加できるように発信していきたい。

・実行するのが難しいテーマだと思った。高校の場合、広範囲からの通学になり地域密着が難しく、各学校の特徴がある。学校単位の活動になると思うが、今日の討議を通して学校の枠を越えた活動ができれば良い。

・いろいろな意見を話し合う中で理想論からではあるが、子どもたちの成長や学校を守り、応援していく気持ちには変わらないと思った。実現できるように挑戦したい。

たくさんさんの会員の皆さんに出席いただきありがとうございました。引き続き「熟議」をPTA活動の主取組の一つとして普及・発展につなげていきたいと思っています。

## 平成28年度

### 小中高PTA・校長会連絡協議会開催

この協議会は小・中・高の連携協力を図る趣旨から企画され、今年度は高P連が主管担当でした。7月29日（金）に山口県教育会館会議室Ⅰにおいて、教育庁社会教育・文化財課、小中高校長会、山口県PTA連合会役員及山口県公立高等学校PTA連合会役員19名が出席し開催されました。

協議及び情報交換では「小中高PTA連携の成果と課題について」につい



て、熱心な協議が展開されました。特に、「コミュニケーション・スキル」や「地域協育ネット」、「高P連熟議」の取組について実践例や取組状況の報告がされ、その後成果や課題等について小中高それぞれの立場からの意見・感想をもとに協議されました。

これからも、小学校PTAと中学校PTAおよび高校PTAの縦の連携強化を図ることが一層重要になってくるということ、学校・家庭・地域の連携、協働の取組をさらに充実・活性化させていくことを確認することができた有意義な会となりました。

なお、8月に3地区で開催しました高P連研究討議研修会（熟議）に、昨年に引き続き小・中PTAからも出席していただいています。



# 学校紹介

山口県立萩高等学校 PTA会長 小 寄 由 紀

## はじめに

本校はまもなく創立150年を迎える歴史と伝統を誇る高等学校です。昨年は『明治日本の産業遺産』として、萩城下町等が世界遺産に登録されました。その萩城下町の中に位置するのが我が校です。明治維新を支えた多くの先人が育った町、今にもそこから高杉晋作が、久坂玄瑞が走つてきそうな趣を残す町萩で、生徒たちは歴史の流れを受け継ぎ大きな志を抱いて、未来の夢の実現に向けて努力しています。

## 本校の教育活動

教育目標は、校訓である『至誠』を基本姿勢として、質実・自主・協同・創造の

校風のもと、知・徳・体の調和のとれた人材の育成と主体的に学び共に成長し合う生徒の育成を目指しています。普通科と理数科からなり、単位制をとることによって生徒一人ひとりの進路実現にきめ細かく対応しています。また理数科を中心に高大連携を、1・2年生を中心に近隣の中学校との中高連携も積極的に取り組み、北浦の進学校としての役割を果たしています。

また、本年度から新たな取り組みとして1年生全員を対象として高大連携事業の『カタリバ』を、2年生全員を対象として山口県高P連の支援のもと『熟議』を実施しました。

カタリバでは、大学生から様々なアドバイスや経験談を聞かされ、生徒の進路決定の大きな参考になったのではないかと思います。熟議では、萩市長の世界遺産についての基調講演を聞き、それを受けて『世界遺産の中



熟議



カタリバ

にある高校として自分たちに何ができるか！』というテーマで20グループに分かれて熱心に話し合っていました。

高校生ならではの奇抜でユニークな発想が印象的でした。

部活動は「文武両道」を旨とし、文化部・運動部の部活動を通じて、生徒一人ひとりの個性が輝いています。特に合唱部や柔道部は、全国大会・中国大会の常連校として活躍し、陸上部は総勢50人を超える部員数で古豪復活を目指して日々練習に励んでいます。

学校行事も、3年生がリーダーとなり、個性豊かで創造性あふれる文化祭・合唱コンクール・体育祭・クラスマッチなどを行い、生徒の笑顔と熱気があふれています。

## PTA活動

「主役はあくまで生徒！Pは裏方で生徒を支える！」というスタンスで学校と密接に連携を取りながら取り組んでいます。が、「やるからには親も楽しく！」をモットーに沢山の保護者に協力を呼びかけながら活動をしています。主なPTA活動は次の通りです。

- ・年度初めの生徒会執行部とPTA役員との意見交換会
- ・PTA総会
- ・年2回の保護者と教職員との情報交換会・懇親会
- ・文化祭でPTA主催の食品バザー(主に焼きソバなど)
- ・PTA新聞『せんだん』の年2回発行
- ・PTA生徒指導部による立番交通指導

## PTAとつながり

・山口高校と合同開催の『萩往還を歩く会』での豚汁作り(昼食に全員配布)

私はこれまで、色々な立場でPTA活動に対し関わりを持ってまいりました。

そして、いつも思うことがあります。子供が学校生活を送る期間は



PTA総会

限られています。そこで子供を通して出会った保護者の方々や先生方に、子供はもちろん、私はいつもそんな皆さんに支えられてられているということです。PTA活動を通してかけがえない大切な出会いを多くいただいています。その出会いを大切に、私たち保護者は共に、子供たちが成長する過程にできるだけ積極的に関わり、先生方と子供たちを応援していければと強く思っております。

「世界遺産の中にある高等学校」という素晴らしい環境の中、子供たちが伝統から未来へ、地域から世界へと羽ばたいていけるよう応援し、私たち保護者にとっても素敵な思い出や出会いが育まれるようなPTA活動になるよう心掛けていきたいと思っています。



## 平成28年度 災害負傷状況

平成28年9月末日現在

## 種別件数

| 種別                                                                                              | 件数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| サッカー・フットサル                                                                                      | 17 |
| バ                      ス                      ケ                                                 | 4  |
| 野                                              球                                                | 15 |
| ハ    ン    ド    ボ    ー    ル                                                                      | 5  |
| 柔                                              道                                                | 3  |
| バ    レ    ー    ボ    ー    ル                                                                      | 2  |
| テ                                              ニ                                              ス | 3  |
| バ    ド    ミ    ン    ト    ン                                                                      | 2  |
| 陸                                              上                                                | 2  |
| そ                                              の                                              他 | 3  |
| 計                                                                                               | 56 |



## 傷病見舞金 額別

| 見舞金     | 件数 | 合計額        |
|---------|----|------------|
| ¥10,000 | 19 | ¥190,000   |
| ¥20,000 | 5  | ¥100,000   |
| ¥30,000 | 3  | ¥90,000    |
| ¥40,000 | 6  | ¥240,000   |
| ¥50,000 | 26 | ¥1,300,000 |
| 計       | 59 | ¥1,920,000 |

### 学校管理下状況件数

|     |     |    |
|-----|-----|----|
| 発生時 |     | 件数 |
| 授   | 業   | 5  |
| 部   | 活   | 51 |
| 登   | 下校  | 1  |
| 学   | 校行事 | 1  |
| そ   | の他  | 1  |
| 計   |     | 59 |

部位別件数

| 部位別       | 件数 |
|-----------|----|
| 骨折        | 28 |
| 靱帯損傷      | 13 |
| 靱帯断裂      | 3  |
| 半月板損傷     | 8  |
| 半月板断裂     | 3  |
| 肉離れ       | 1  |
| 伸筋腱断裂     | 1  |
| 脳震盪・頭部外傷  | 1  |
| 打撲・捻挫     | 2  |
| 熱中症       | 1  |
| 椎間板症・ヘルニア | 3  |
| 脱臼        | 3  |
| その他       | 10 |
| 計         | 77 |

(重複しています。)

県教育長へ要望書提出について

1. 県立高校の再編整備とそれに伴う教育現場への配慮支援について
2. キャリア教育の推進と進学支援・就職支援の推進について
3. 学校の施設・設備の充実について
4. 部活動の充実活性化について
5. 生徒通学時の安全確保等について
6. 生徒の選挙権の行使について
7. 第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会山口大会について

## 全国高P連賠償責任補償制度

☆ 掛金

生徒一人当たり 300円

## 見舞金給付事業

☆ 傷病見舞金

補償期間 4月1日～翌3月31日

見舞金負担金 全日制 300円

定時制 150円

被保險者

\*生徒(日本スポーツ振興センター  
の決定に基づき給付)

見舞金 (最高5万円)

香料 3万円

\*保護者(PTA活動中のみ)

入院見舞金 最高3万円

香料 3万円

☆ 障害見舞金 10万円

## ☆ 死亡見舞金 10万円

## 各地区別連絡協議会開催日

各地区別連絡協議会開催日

|   |             |     |                      |
|---|-------------|-----|----------------------|
| 1 | 岩国地区（6月19日） | 主管校 | 岩国高等学校               |
| 2 | 柳井地区（7月25日） | 主管校 | 周防大島高等学校             |
| 3 | 周南地区（7月20日） | 主管校 | 光丘高等学校               |
| 4 | 山防地区（7月22日） | 主管校 | 下松工業高等学校             |
| 5 | 長南地区（7月1日）  | 主管校 | 宇部工業高等学校<br>宇部商業高等学校 |
| 6 | 下関地区（8月3月）  | 主管校 | 下関西高等学校              |
| 7 | 長北地区（7月22日） | 主管校 | 豊北高等学校<br>大津緑洋高等学校   |

保険金請求、  
忘れていませんか？

今からでも  
ご請求できます!!

任意加入

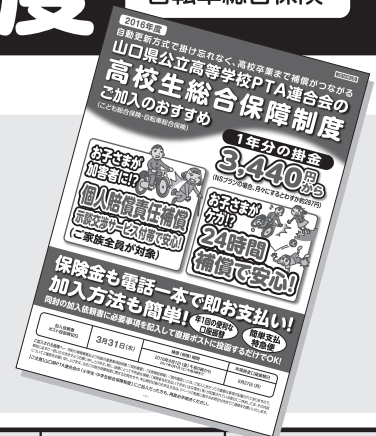
2016年3月現在の内容です。

# 山口県公立高等学校PTA連合会 高校生総合保障制度

こども総合保険  
自転車総合保険

大切なお子さまのさまざまな危険にそなえます。

- 学校内外、土・日全てを含む1年365日24時間補償。(学校管理下動産補償を除く)  
個人の安心のための総合保障制度です。
- 自転車事故でのケガの補償が、すべてのプランで充実しています。  
またケガの治療費を実費で補償できるプランが好評です。
- 簡単支払特急便でスピーディなお支払い。ケガで保険金5万円以下なら  
電話一本で、請求できます。
- 1回の加入手続きで高等学校卒業まで自動更新されます。



| 個人賠償<br>責任補償                                                        | 育英費用<br>補 償                                                                  | ケガの医療<br>実費補償                                                                   | ケガの<br>補 償                                                                        | 学校管理下<br>動産補償                                        | 被害事故<br>補 償                                           | 病気の補償                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| お子さまやそのご家族が、誤って他人にケガをさせてしまったり、他人の物を壊してしまったり、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償します。 | 扶養者の方がケガをし、事故の日からその日を含めて180日以内に死亡または所定の重度後遺障害を負った場合にお子さまの育英費用として一時金をお支払いします。 | お子さまがケガをして医師の治療を受けた場合に実際に負担した治療費用、医師の指示による差額ベッド代や入院時の交通費などを補償します。(細菌性食中毒補償を含む。) | ケガで入院したり、通院した場合の日額補償、所定の手術を受けた場合の手術補償、後遺障害や万一の死亡補償まで幅広く補償します。(熱中症補償、細菌性食中毒補償を含む。) | 学校の授業中、登下校中に、お子さま本人が携行している身の回り品が盗難にあたり、破損した場合に補償します。 | お子さまが、ひき逃げ事故や誘拐等の犯罪行為により、死亡または所定の重度の後遺障害が生じた場合に補償します。 | ・病気死亡見舞金<br>・疾病入院医療保険金<br>・疾病入院療養一時金<br>・疾病手術医療保険金<br>お子さまが補償開始後に発病した病気で1日を超えて入院した場合などに補償します。 |

※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に学校で配付されます。※具体的な補償内容は、プランごとに異なります。※詳しくはパンフレットをご覧ください。  
※上記、補償内容については、主な場合を記載しています。具体的な内容については、下記、「お問合せおよび相談窓口」へお問い合わせください。

## お問合せおよび相談窓口

制度内容・加入手続き、事故についてのご相談、住所変更、転校など

土・日・祝日・年末年始を除く(月～金 午前9:30～午後5:30)

☎0120-714-855  
☎0120-504-551

## 加入者サービス

### ●ハロー健康相談24

電話による健康・医療・ストレスに関するアドバイスをします。

### ●セカンドオピニオンアレンジサービス

お子さまの病状・症状の相談をお受けします。

### ●メンタルケアカウンセリングサービス

心の専門家による面談カウンセリングをご提供します。

※上記サービスは、補償期間(保険期間)中、AIU損害保険株式会社がティーバック株式会社に委託してご提供します。今後、予告なく変更・中止される場合があります。

## 山口県公立高等学校PTA連合会

〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館内  
TEL 083 (923) 4761 FAX 083 (923) 4785

制度引受保険会社

## AIU損害保険株式会社

中国・四国地域事業本部 広島支店

〒730-0011 広島市中区基町11-10

合人社広島紙屋町ビル2階 TEL 082 (222) 4351

受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

(取扱代理店) NOSCOインシュアランスサービス(株)

TEL 082 (228) 1222

受付時間:午前9:30～午後5:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

この広告は制度商品の概要をご案内したものです。詳細は「お問合せおよび相談窓口」までお問い合わせください。

[承認番号 A-000638 有効期限 2017-03]

各校PTAの会員である

## 先生方のための補償制度

# 山口県公立高等学校PTA連合会 教員総合補償制度

主な補償内容(2016年3月現在の内容です。)

- ① 先生方の職務遂行に起因する法律上の損害賠償金などの補償(施設所有(管理)者賠償責任保険)
- ② 先生方の個人生活に起因する法律上の損害賠償金などの補償(普通傷害保険個人賠償責任補償特約)
- ③ 先生方のケガの24時間補償(普通傷害保険)

詳しくは下記取扱代理店

フリーダイヤル 0120-084-025

「教員総合補償制度係」までお問い合わせください。

制度引受  
保険会社

AIU損害保険株式会社 中国・四国地域事業本部(広島支店)

〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル2階 TEL 082 (222) 4351

受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く) URL: http://www.aiu.co.jp

取扱代理店

NOSCOインシュアランスサービス(株)

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10 TEL 0120-084-025

受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

[承認番号 A-000637 (2017-03)]